



オリーブ便り Olive News

2021.09.01

No.447

香川大学 医学部附属病院 香川県木田郡三木町池戸1750-1 発行人/病院長 田宮 隆

基本理念 患者さんの権利を尊重し、良質・安全な医療を提供するとともに、医学の教育・研究を推進し、医療の発展に寄与します。

病院長退任挨拶

さらば青春

香川大学医学部附属病院 病院長 田宮 隆

このたび令和3年9月30日をもって病院長を退任し、附属病院を去ることとなり、一言ご挨拶を申し上げます。

私は平成15年4月に香川医科大学脳神経外科に助教授として岡山大学脳神経外科から異動してきました。その後、平成19年7月から香川大学医学部脳神経外科学講座教授に就任、令和3年3月31日に教授を退任、そしてこの度、病院長としての任期も終了することとなりました。約18年半にわたり、皆様のお陰で香川での充実した「青春」を過ごすことができました。

脳神経外科学講座は、初代大本堯史名誉教授、2代目長尾省吾名誉教授(前学長)が発展させてきた教室であり、それを引き継ぐことができ、そして4代目の三宅啓介教授に無事バトンタッチでき本当に嬉しく思っております。脳神経外科のスタッフには無理ばかりお願いしましたが、いつも快く支えていただき誠に有難うございました。講座のさらなる発展を祈念すると共に、関係の皆様のご指導とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

最後の2年間は、病院長業務が主体となりました。病院再開発が終わりハードのみならずソフトの面での飛躍が必要な時期に、新型コロナウイルス感染症という大きな災害が襲ってきました。しかし、皆様のご協力のおかげで対応できました事、厚くお礼を申し上げます。今後も県内唯一の特定機能病院・大学病院として最新・最善の高度な医療の提供を継続しながら、香川県および県内の医療機関・医師会と連携して新型コロナウイルス感染症にも対応していただければと思います。最近では多くの医療施設が国からの指導の下、県単位で施行され、香川県との連携が非常に重要であります。本院は今年度から香川県アレルギー疾患医療拠点病院に選定され、香川県の委託事業としての感染症教育センターの設置、香川県のドクターヘリ導入による給油施設整備、フライトドクター・ナースの人材育成などが行われる予定です。このように香川大学医学部附属病院はさらなる発展が必要です。また、大学病院の重要課題として「働き方改革」に対する早急な対応が要求されています。是非、全職員が一致団結して、香川県民に愛され信頼される素晴らしい香川大学医学部附属病院であり続けることを心より祈念しております。

最後にいつも支えていただいた附属病院の全職員の皆様、そして関係の皆様に心より感謝申し上げます。本当に有難うございました。



最終講義: 令和3年3月9日(火)

科長の横顔

座右の銘、ポリシー

患者さんを総合的に診るために、患者さんの心理状況、ご家族や社会環境も考慮して患者さんの訴えに向き合えるように努めたいと思っています。患者さんのお話を丁寧に伺いし、丁寧に診察し、見逃さないように注意して取り組んでまいります。

診療科紹介

医学部附属病院は専門診療科に細分化されています。当科外来では、病状・検査からは受診すべき専門診療科が明らかでない患者さんの診療を行います。基本的には地域のクリニック、病院から紹介いただいた患者さんです。入院が必要な場合は入院精査加療も行っています。専門診療科での検査や治療が必要と判断された場合には専門診療科へ紹介させていただき、院外・院内の先生方にお世話になっており、感謝いたしております。



香川大学医学部附属病院
総合内科
診療科長 舛形 尚

師長の横顔

座右の銘、ポリシー

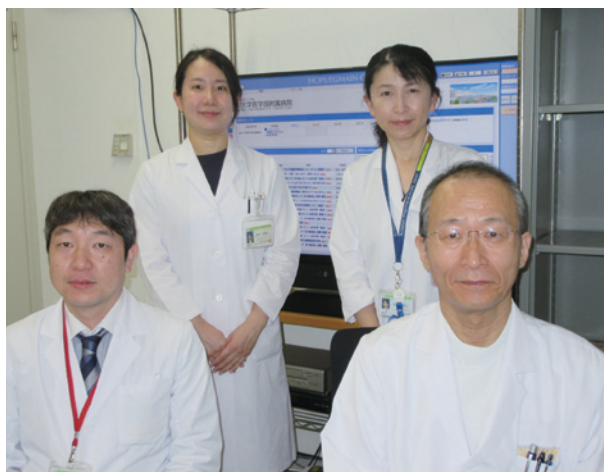
「一歩・一歩 確実に」時間に追われがちな時こそ、一つ一つのことを大事に、確実にを行うよう心掛けています。病院では、時間に追われることも少なくありませんが、そんな時こそ、立ち止まり一人一人の看護に向き合うことで、看護の力が積み重ねられているように感じます。

病棟紹介

東病棟5階は、消化器内科・総合内科・腫瘍内科の病棟です。総合内科では、病名が確定していない不明熱やがんの診断等において、専門医がチームを組んで診療を行っています。私たち看護師は、患者さん・ご家族も医師と同じチームの一員ととらえ、患者さん・ご家族に寄り添い、想いを支える看護を目指しています。



香川大学医学部附属病院
東病棟5階
看護師長 角田 光代



総合内科スタッフ集合写真



東病棟5階スタッフ集合写真

新任挨拶



香川大学医学部附属病院 リハビリテーション科 診療科長 小松原 悟史

令和3年7月1日付でリハビリテーション科長を拝命しました小松原悟史でございます。リハビリテーション科ではリハビリテーション部と連携し、主として入院患者さんを対象とした診療を行っています。

附属病院リハビリテーション部においては、脳血管疾患等リハビリテーション(I)、運動器リハビリテーション(I)、呼吸器リハビリテーション(I)、心大血管疾患リハビリテーション(I)、廃用症候群リハビリテーション(I)、がん患者リハビリテーションの施設基準を取得しています。運動器疾患、脳血管疾患、呼吸器疾患、神経筋疾患、廃用症候群、小児疾患など

多岐に渡る疾患を対象としています。

当科では、各診療科の先生から依頼いただいた内容に基づき患者さんに受診いただきます。初診時には、診察と機能評価を行い、個々の患者さんに適した訓練計画をたて、説明の上、同意をいただきます。その後、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士により実際の訓練を開始します。定期的な評価により効果を判定し、患者さんの状態に応じた訓練を目指します。

患者さんのリハビリテーションが円滑に進むよう精進して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

見えぬ心臓の病 早期発見を

香川大学医学部 心臓血管外科学 教授 堀井 泰浩

心臓や大動脈の手術を専門に行う外科医として、不安を抱いている患者さんに、心臓血管外科手術は安全に行え、また元気な生活に戻れますよ、と説明していますが、身体への負担の大きな手術ですから、回避できるに越したことはありません。

突然の発症で一刻を争う緊急手術はあるものの、気付かない間に少しずつ進行して、何の痛みも不都合もないにもかかわらず、大きな手術が必要となることがしばしばあります。唐突に思える発病も、長い間に進行していることが多く、隠れた芽を見つけて適切な治療をすることで、大手術の回避や、たとえ手術が必要でも完全に治ることもあります。

心臓大血管の代表的な病気は、冠動脈疾患や大動脈瘤など多岐にわたりますが、なんらかの基礎疾患を合併していることが多いです。いわゆる成人病が代表的で、後天的に発症することの多い糖尿病や高血圧は、ゆっくりと進行し、気付いた時にはかなり重症化してしまっていることがあります。適切な治療により、心臓大血管の病気を発症させず、重症化を防ぐことも可能ですので、隠れている病気を見つけることが重要になります。

糖尿病や高血圧の厄介なことは、強い症状はなく、また放置してもしばらくは何ともないことでしょうか。ただ薬を飲んでいれば大丈夫ではなく、日常的な運動や食事制限が基本ですが、ちょっとサボったところですぐにしっぺ返しがる訳ではなく、なかなか不調を感じません。また日常生活の忙しさにかまけて、少々の不調があっても、大したことではない、と無視したくなりますし、誰も自分は大丈夫と、根拠のない安心を求めるものです。

健診などの基本的な検査で、全身へ影響の大きい成人病を、早期に境界領域から発見し、まず運動や食生活の改善が重要です。見たくない現実や嫌な病気のことなど、日ごろの仕事の忙しさや、埋没してしまう日常から、ついつい後回しにしてしまいがちですが、まずは日ごろから運動して食事に気を配り、医師による適切な治療を受けることで、健康寿命が延ばせれば言うことがありませんね。

でも大丈夫、たとえ心臓や大血管の大きな手術が必要であれば、われわれに任せてください。

毎日新聞「四国健康ナビ」2020年10月6日掲載分

ケーブルTVで放送中

イキイキさめき健康塾
香川大学医学部附属病院 医療セミナー

9月のテーマ 「腎細胞がんのお話」

10月のテーマ 「腸から元気に!腸内細菌叢とこどもの健康」

詳しくはこちら



第21回香川大学医学部・香川県連絡会議を開催

香川大学医学部 総務課

去る7月26日(月)に、第21回香川大学医学部・香川県連絡会議が本学医学部管理棟5階大会議室で開催されました。

この会議は、香川県における保健・医療・福祉の一層の充実を図るため、本院と香川県との連携・協力の方策について広く意見交換することを目的に毎年開催されています。

今年度は、ドクターヘリの導入への協力や新型コロナウイルス感染症対策等、香川県の医療課題に対する本院の取組等に関して活発な意見交換が行われ、本院と香川県が今後も情報交換・協力していくことが再確認されました。



病院食紹介

香川大学医学部附属病院 臨床栄養部

臨床栄養部では、入院中も季節を感じていただけるように毎月行事食を提供しています。今年度はオリンピックが開催された年であり、世界各国の料理を取り入れました。

7月23日朝食

スポーツの日・オリンピック開会式



・無塩ロールパン
・チリコンカン
・牛乳
・あん&マーガリン
・ビタミンゼリー

8月4日昼食

栄養の日



・米飯
・もやしのナムル
・乳酸菌飲料
・ヒビンパ風
・春雨スープ

8月24日昼食

パラリンピック開会式



・米飯
・かぼちゃのいとこ煮
・味付け海苔(P)
・タンドリーチキン
・てっばい

臨床研究に関するご案内

香川大学医学部

倫理委員会委員長

治験審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院

臨床研究審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院では、診療に伴って取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録や尿・血液等の検査試料、生検組織(内視鏡検査で検査のために採取した組織等)又は摘出組織等の試料が発生します。

それら記録試料等を本院は、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、患者さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前向き研究(研究を立案、開始してから新たに生じる事象について調査する研究)に患者さんの情報を利用する場合は、書面により患者さんの同意をいただくことといたします。後向き研究(過去の事象について調査する研究)の場合は下記URLに示しております。

利用目的の中に同意しがたいものがある場合は、1階外来ロビー内個人情報相談窓口または各診療科までお申し出ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用することに対して同意が得られたものとさせていただきます。

臨床研究に関するご案内URL <http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/about/rinsyo/>

イベントカレンダー 2021.9~2021.10月 予定表

月日	時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
9/5 日	13:30~16:20	サンサン館みき 2階	肝がん撲滅運動 市民公開講座	消化器・ 神経内科学	(087)891-2156

編集委員会 (50音順)

(2021年8月現在)

阿部(看護)、井町(外来)、木内(検査)、小坂(薬剤)、圖子(管理)、筒井(経営企画)、常森(病棟)、仁尾(医療支援)、南野(副病院長)、門田(放射線)、横井(医療情報)、横川(総務)、和氣(医事) [委員長 田宮病院長]